

# 環境アドバイザー ごみ部会の活動

群馬県環境アドバイザー連絡協議会

ごみ部会

部会長 奈賀由香子

# 群馬県環境アドバイザーとは

- 県が募集、地域の環境保全活動のリーダーとして、環境保全に強い意識を持つ方が登録する環境ボランティア制度
  - 群馬県環境政策課に事務局
- 
- 平成4年度に創設し、令和6年4月から第13期が始動
  - 環境に関心を持ち、人と環境との関係や人間の経済活動が環境に及ぼす影響を理解し、環境保全のための行動に移す人を増やすことが、大きな役割の一つ

2025年1月16日現在 329名登録（ごみ部会登録者は111名）

# 群馬県環境アドバイザー連絡協議会

【目的】群馬県環境アドバイザー相互の連携を図る

【活動】協議会会則に沿った活動を行う

【役員】代表、副代表、部会長、委員長、幹事、書記

役員による幹事会は3ヶ月に1回県庁で開催

【部会】1委員会3部会が定期的に会合開催（主に前橋市内で）

- ・広報委員会
- ・自然環境部会
- ・ごみ部会
- ・温暖化エネルギー部会

## GREEN ニュース

行動する環境アドバイザーの会報 第99号 2025  
環境アドバイザー連絡協議会  
第13期代表 井上金治  
令和7年1月発行  
創刊平成5年7月16日



相馬山(榛名山)からの初日の出です。関東平野に登る朝日、朝日に照らされる板東太郎、激しく変わる現代においても、山頂からの美しい景色は昔から変わりません。いつまでもこの素晴らしい景色がありますように... 今できる一歩を一緒に踏み出しましょう！  
広報委員長 酒井 義明

群馬県環境アドバイザーの登録状況 (2025年1月16日現在)  
第13期(登録期間:2024年4月1日~2027年3月31日)の登録者数は、更新者、新規登録者を含め、合計329名です。自然環境部会184名、温暖化・エネルギー部会146名、ごみ部会111名、広報委員会49名が登録し活動されています。

【目次】

- P2 環境政策課からのお知らせ
- P3 作物栽培で地球温暖化防止をめざして  
環境アドバイザー視察報告(自然環境部会)
- P4 地域箱型型農業見学会報告(温暖化エネルギー部会)
- P5 ごみ部会前橋市出前講座
- P5 市民発!持続可能な地域づくりを  
自分事で考えるシンポジウム
- P6 食品ロス削減全国大会 出張報告  
第24回ぐんま環境フェスティバルに参加して
- P7 美穂と環境
- P8 楽しく学ぶ親子環境教室  
上州会議2024に参加して  
編集後記

群馬県環境情報サイトのURLが変わりました  
2023/10/1~  
  
<https://www.pref.gunma.jp/site/eco/>  
ECOぐんまのX(旧ツイッター)をフォローしよう!  


## これまでのごみ部会活動紹介

- 毎月の定例会のほか、清掃工場、事業所見学会 など。生ごみの水切りや、たい肥化への取り組み
- 「ごみ減量活動事例報告会」(H.22~24)を経て、群馬県と共催で「みんなのごみ減量フォーラム」の開催(H.25~R.1)



パネルディスカッションの様子



展示コーナーの様子

## ぐんま5つのゼロ宣言（令和元年12月）

- 「ぐんま5つのゼロ宣言実現条例」は、2050年に向けた「自然災害による死者ゼロ」「温室効果ガス排出量ゼロ」「災害時の停電ゼロ」「プラスチックごみゼロ」「食品ロスをゼロ」にする目標を掲げて、令和4年3月に公布。

- 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

環境中に排出されるプラスチックごみをなくす

### 主な取組

- プラスチックのライフサイクル全体を通じた資源循環の構築
- ワンウェイプラスチックの使用削減、代替素材への転換促進
- プラごみの分別・資源循環推進 など

## 第13期のごみ部会の活動（R6.6～）

まだ始まったばかりですが・・・  
定例会が話し合える場所

部会のメンバーはいろいろな方がいるので、

まずはそれぞれのことを聞いてみよう

8月 量り売りのお店を経営されている栗原さん

10月片付けのプロ・整理収納アドバイザーの三木さん

12月 前橋市ごみ政策課の出前講座

1月 講師派遣してもらい江戸の循環の話聞く



定例会は二か月に一回会議形式。その合間にスキマ活動として、何でもやってみよう！

## 8月23日定例会で「量り売り」について部会メンバーから話をしてもらおう



どうして量り売りのお店を始めようと思ったの？  
量り売りとごみの関係

# それを受けて・・・スキマ行事 9月19日「量り売り」のお店で体験してみよう！！



■ 量り売りってどういう仕組み？

…………自分で欲しいだけ量って買えるんですね

だから、包装ごみも出ないし、必要な分だけ買えて、スッキリ気分！

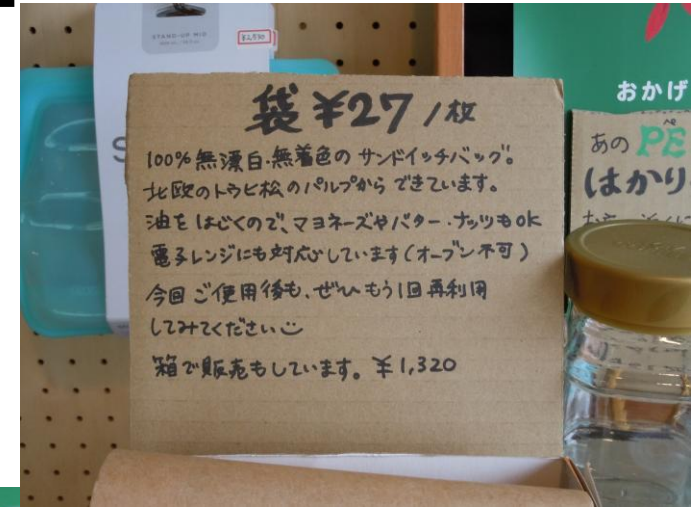
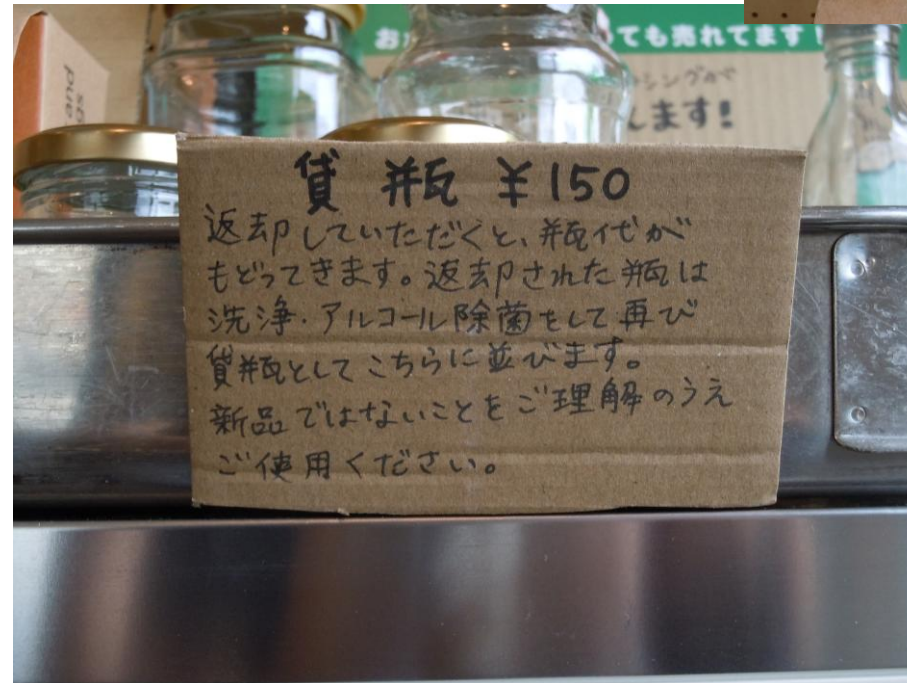




# いろいろなことが学べて体験できました

食品だけじゃなく……

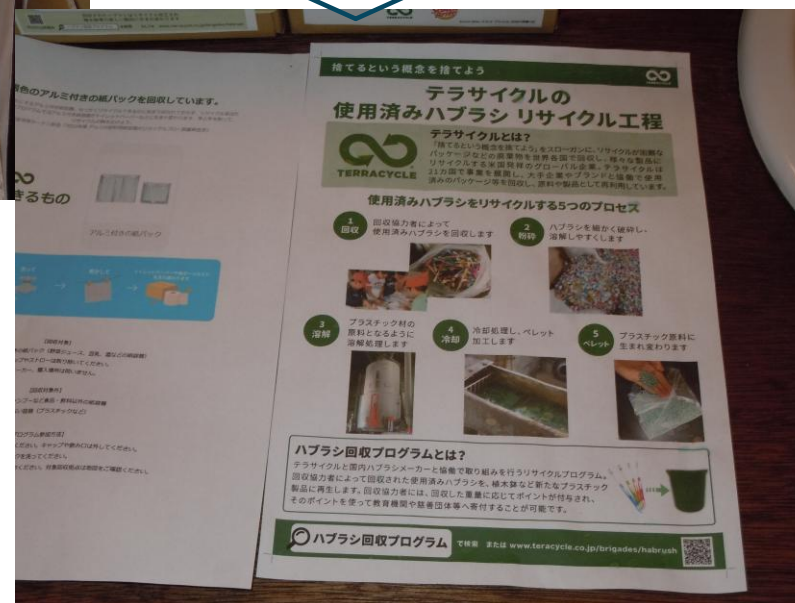
貸し瓶も！



# テラサイクルの回収ボックスも設置！ 歯ブラシ・スポンジ・アルミ付きの紙パックが回収される！



この後、富岡市では、市がすでに取り組んでいるという情報も！



## プラスチック回収拠点をラインで紹介しあう



富岡市生涯学習センターに設置された、Loopの歯ブラシ回収箱とパイロットの使用済みプラスチックペン・文房具の回収箱



高崎OPAに設置されているP&Gのプラ容器回収箱

# 回収ボックスはいつか当たり前 なってほしい



← ユニクロ

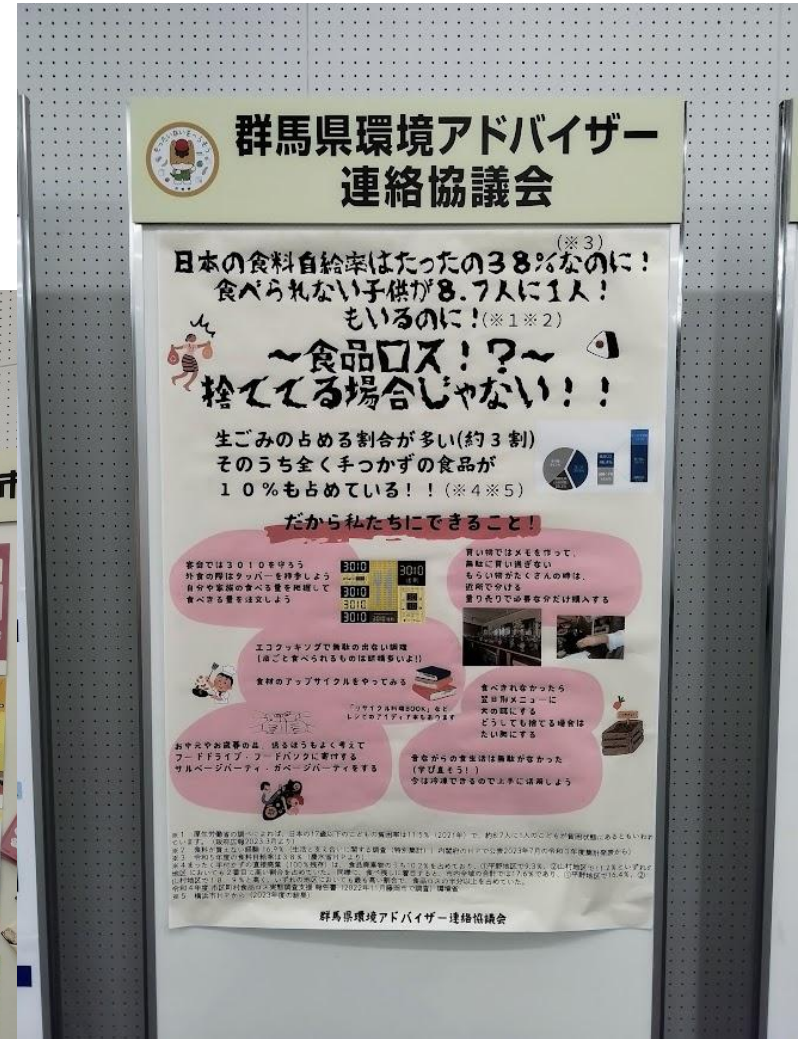
無印良品 →



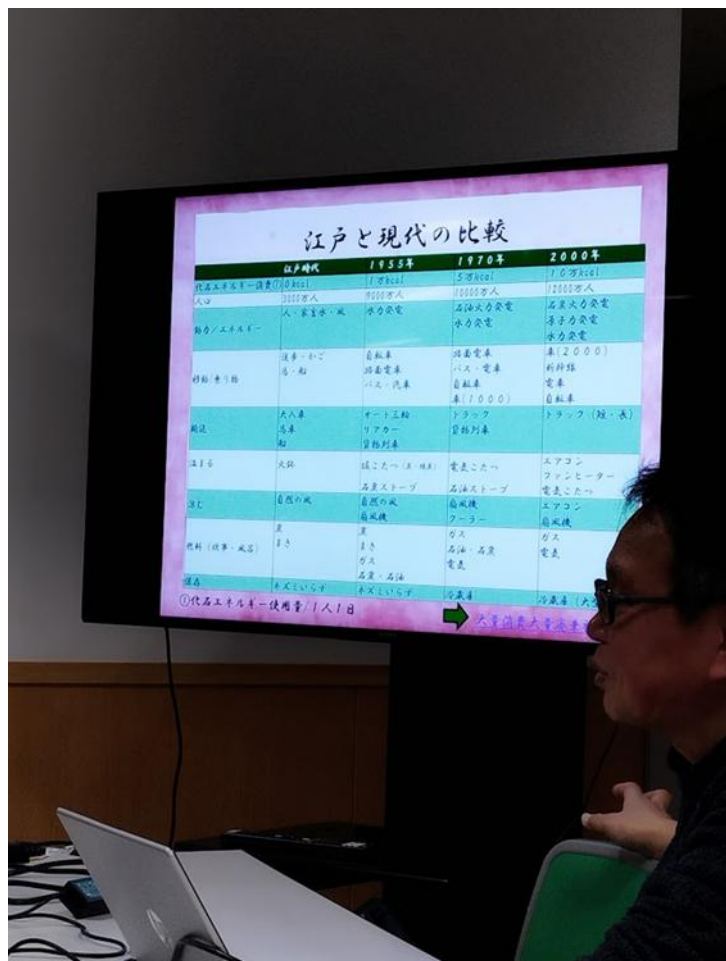
# 部会で、片付けの講座を聞きながら、環境フェスティバルで配布する 苗をいれる紙袋を新聞紙で作成



# 10月30日食品ロス削減全国大会に出展



# 江戸時代の循環型の暮らし方から今の暮らしを考える



資源回収に出せない紙ごみは意外と多い

作れるものは自作  
ジーンズから作ったバック



# 使い捨て容器削減を目指すREFILLの活動

Refill Japanの群馬県窓口団体「Refill ぐんま」



「プラスチックの海」  
上映会の開催

イベントでは、化粧品を  
アップサイクルしてできた  
絵具を使って、絵を描くWS





# マイボトルに給水できるスポットと 持参容器で買い物のできる容器スポット 登録後マップ掲載



スポットステッカー



1984年(昭和59年)創刊

よりよい地域をめざす、高崎市を中心とした情報誌

## ちいしんぶん 7.19 2024(令和6) No.1405

発行所/ライフケア倶楽部(株)高崎市小川木町312-15ビジネスパーク小川木 ☎027(370)2262 ☎027(370)2263  
ちいしんぶんは、旧高崎市内の約9割のご家庭や事業所のポストに無料で投函させていただいています。新規お届けもくは不要等、配布に関する件は上記までご連絡下さい。

http://mony-dc.com ▶ まずはHPでご来店下さい。  
●院長/榎谷 光徳  
●診療時間/AM9:00~PM1:00  
PM2:15~PM6:30  
●休診日/日曜日、祝日、木曜日  
☎027-344-8241  
●もれや歯科クリニック



マイボトルを手に給水スポットの利用と登録を呼びかける金井真奈美さん(左)、栗原史恵さん(中央)、栗原由香子さん



マイボトルを登録し、セルフで給水できるようになっています。

**県内50カ所が登録**  
夏が近づくと、親子連れにぎわうエコーパークや、高崎市内並木町。カンタリー近くにあるドリンクサーブから、子ども用のマグに水を注ぐママたちの姿が見られる。当店は、セルフサービスで誰でもマイボトルに水を入れることができるようにしています。話すのは、店長の金井真奈美さん。ランチタイムは、キッズスペースを併設した店内で、食事を楽しみながらマイボトルに水を注いで午後のもひと遊びにそなえる親子が多いという。同店は、Refill Japanが導入している給水スポットの最初の登録店。給水スポットは、外出先で水が不足するときに誰かが無料で水を補充できるようにする場所を指す。県内には、公共施設以外では、おおよそ50カ所。店舗や企業が登録を希望しているという。

出先で水が不足するときに誰かが無料で水を補充できるようにする場所を指す。県内には、公共施設以外では、おおよそ50カ所。店舗や企業が登録を希望しているという。

日本では生産されるペットボトルは、年間277億本(※)。その9割がリサイクルされているという。9割という数字で安心するのは、安易だ。ごみとして扱われるのは1割だが、本数にして22億本。仮にリサイクルが進んだとしても、ペットボトルの原料は石油だ。同団体の代表、栗原史恵さんは「輸送費やサイクルの際の手間もかかります。プラスチック製品自体を減らさない」と意気込みを語っている。水道水の消費を減らすというわけだ。

「プラごみ削減につながる。この活動を推進しているRefill Japanは、使い捨て容器を減らして、給水スポットを広げようというRefill Japanを母体とした団体メンバーは、群馬県が行う環境に関するボランティア活動に携わる環境アドバイザーをはじめ、環境に関心の高い経営者や大学関係者など正会員15名の他サポーターが30名。立ち上げに携わった環境アドバイザーの栗原由香子さんは、環境問題を学ぶ中で、県内のプラスチックごみを少しでも減らしたいと活動を始めました」と話す。

**水を通して生まれるつながり、水から見える環境問題**  
**「給水スポット」を活用しよう**  
暑くなりそうな今年の夏。持参したお茶や水を飲み切ってしまった、そんなとき、あなたならどうする? スーパーやコンビニでペットボトル入りの水分を購入する。自宅までガムする? そんなことをしながらも、持参したボトルに無料で水を入れてもらえ、そのつながりも生まれる場所がある。それが、Refill Japanが推奨する「給水スポット」だ。目的や利用法を聞いた。

Refill Japan  
summer@refill.jp

※2017年統計(ペットボトルリサイクル推進協議会2018年度報告書)  
**みんなにうれしい取り組み**  
給水スポットが増えると、外出先での水を調達することができる。マイボトルが空になっても不安に思う必要はない。環境にもお財布にもやさしい。水を介して人と人との笑顔のつながりも生まれ、過剰消費の社会的な実現にもつながる。利用の仕方は簡単。右のステッカーのある店舗や会社にマイボトルを持参し、給水をお願いするだけだ。同団体では、飲食店のテイクアウトフードやドリンク、量り売りの商品を購入する際、マイ容器を持参する。マイ容器スポットの取り組みも広がっている。前出のエコーパークは、両スポットに登録。導入して大変なことは何もありません。利用し始めたばかりの段階で、マイ容器で持ち帰りが自然なことになって、良いこと尽くめと金井店長は笑顔を見せる。現在、両登録店も募集中。栗原代表は「環境負荷を減らし、お店の姿勢をPRするきっかけにもなります。ぜひ登録を」と呼び掛けている。



# 全国29地域で活動

The screenshot displays the Refill Japan website interface. At the top, the browser address bar shows the URL <https://www.refill-japan.org>. The website's header features the "Refill Japan" logo and a navigation menu with the following items: 給水/リフィルMAP, トピックス, リフィルって何?, 地域リフィル, 参加しよう, 支援しよう, 資料室, お問合せ.

The main content area is a video player. The video shows a person's hands in blue and orange patterned gloves filling a clear plastic container with lentils from a wooden dispenser. A text overlay on the video reads: **リフィル (Refill)、  
使い捨て容器を減らす  
シンプルなアクション**. On the right side of the video player, there are social media icons for Facebook, Instagram, Twitter, and YouTube.

At the bottom of the browser window, the Windows taskbar is visible, showing the search bar with the text "検索" and the date and time "2025/02/04 12:27".

# 年末のごみ拾いイベントに参加 ごみから学ぶことは多い



アンカンミンカン富所さん主催イベント

目立つ格好でごみ拾いをしてアピール  
県内から40名ほど参加のうち  
アドバイザーは9名参加

## 分ければ資源・・・「ごみゼロゲーム」(2/11部会で開催)



市民は分別することができます  
リユースもしますが、最終的には・・・

作ったところ、売ったところで  
回収する仕組みがあれば  
ごみは減るのでは？

デポジット制ならなおのこと！

Loopのような仕組みが当たり前になれば！